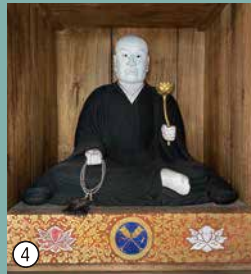


宗内寺院紹介 **86**

神奈川教区川崎第2部
星王山寶藏院 能満寺



- ①本堂
- ②本尊虚空蔵菩薩立像
- ③聖観世音菩薩立像
- ④増田孝清坐像
- ⑤涅槃像

能満寺は、行基菩薩によって創建され、正徳四年（一七一四）に没した観空によって中興されたと伝えられています。

当寺では、本尊である木造虚空蔵菩薩立像（県指定重要文化財）や木造聖観世音菩薩立像（市重要歴史記念物）、増田孝清坐像（市重要歴史記念物）が祀られています。

虚空蔵像は、頭髪を高く結び上げ、面部を面長に造り、衣の襷を装飾的に表現するなど南北朝時代の仏像の特徴が認められます。

観音像は、体軀は量感があり、衣は大ぶりに足までかかり、膝から下にはU字状の衣文が見られるなど、平安時代の特徴が認められます。

また木造増田孝清坐像は、像主の個性的な表情が的確に表現されています。胎内には墨書銘が書かれているほか、銘札が納入されており、本像は、孝清が六十五歳のときにつくられた寿像（生前につくられた肖像）であることがわかります。

神奈川教区川崎第2部
星王山寶藏院 能満寺

住所／〒213-0022 神奈川県川崎市高津区千年354
電話番号／044-766-0009